

医療・介護分野の成長戦略改訂に向けて (説明資料)

平成26年4月16日

産業競争力会議医療・介護等分科会 主査
増田 寛也

医療・介護分野の成長戦略改訂に向けて①

以下の4分野の改革で、医療・介護を成長市場に変え、
質の高い医療介護サービスを持続可能な形で提供できる体制を構築

1. 効率的で質の高いサービス提供体制の確立

- 病院や社会福祉施設等の経営を効率化・高度化。在宅医療・介護分野を充実する機能分化を推進。医療のイノベーションや国際展開推進のため、大学病院を中核とするメガ非営利事業体の出現を後押し。

<具体策>

- (1) 医療・介護等を一体的に提供する非営利ホールディングカンパニー型法人制度を創設
- (2) 大学附属病院を大学とは別法人化し、非営利ホールディングカンパニー型法人への参画を可能とする（岡山大学学長より具体的構想の提案<別添>）
- (3) 医療品質情報の更なる開示、介護サービスの質の改善、居住系介護施設待機者の解消に向けた取組の推進 等

2. 公的保険外のサービス産業の活性化

- 高齢化社会における健康で快適な生活を支える多様なヘルスケア産業を創出するため、セルフメディケーションに向けた国民の行動変容を促すとともに、関連規制の明確化等事業環境を整備。

<具体策>

- (1) 個人、保険者及び経営者に対する健康増進や予防へのインセンティブ付与
 - ① 個人 : 健康・予防への取組に応じて公的医療保険の保険料を増減させる等の制度導入
 - ② 保険者 : 後期高齢者支援金のメリハリ付の強化（加算対象者拡大、加算率引上げ等）
 - ③ 経営者 : 「コーポレートガバナンスに関する報告書」に従業員等の健康管理・予防への取組を記載（次世代ヘルスケア協議会で検討）
- (2) グレーゾーン解消制度の積極的運用や健康サービスに係る品質評価体制構築 等

医療・介護分野の成長戦略改訂に向けて②

3. 保険給付対象範囲の整理・検討

○ 国民皆保険の理念を踏まえつつ、多様な患者ニーズの充足、医療産業の競争力強化、医療保険制度の持続可能性等の要請により適切に対応できる医療保険制度とするため、保険外併用療養費制度を大幅に拡大。

<具体策>

- (1) 再生医療・医療機器の先進医療認可のための専門評価組織を創設し、審査期間を半減
- (2) 費用対効果評価を導入し、費用対効果の低い医療技術等について継続的に保険外併用療養費制度が利用可能となる仕組み等を創設
- (3) 医療上の必要性の高い未承認・適応外薬への患者アクセス拡充のための制度創設
- (4) 療養時のアメニティ向上のため、選定療養（現在差額ベッド等10種類のみ）の対象拡充 等

4. 医療介護のICT化

○ 医療・介護・健康分野にまたがる情報の連携や利活用を促進し、医療介護サービスの効率化・質の向上、ヘルスケア産業の活性化や医療イノベーションを推進。

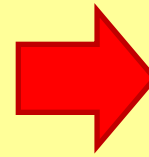
<具体策>

- (1) 国民的理解を前提とした医療情報の番号制度の早期導入のための環境整備の加速化
- (2) パーソナルデータの利活用の促進 等

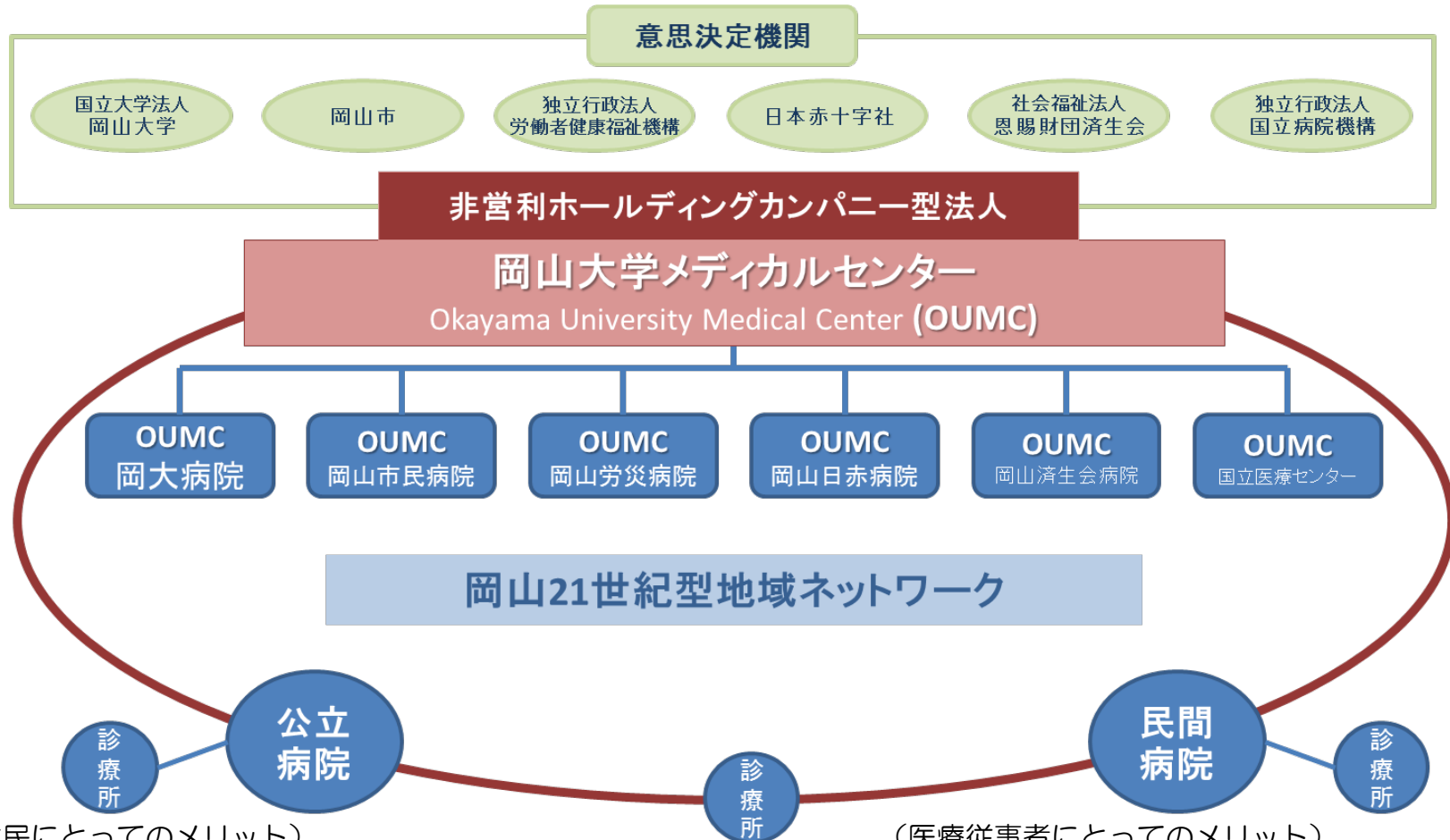
岡山大学メディカルセンター構想の概要

平成26年3月28日
第7回産業競争力会議 医療・介護等分科会
森田 岡山大学学長 提出資料より作成

- 岡山大学附属病院を別法人化し、同病院を中核として近隣病院を包含した岡山大学メディカルセンター（OUMC）を構築。
- 大学医学部における教育の質を担保するため、新法人は岡山大学と「教育」「研究」機能を確実に提供する契約を締結。



同一のガバナンスのもとで競合・分立していた診療内容を再編し、日本一の規模と質を持った国際レベルのメガホスピタルを創出。



(地域住民にとってのメリット)
最適な医療サービスの提供、医療過疎の解消 等

(医療従事者にとってのメリット)
キャリア開発機会向上、適正な評価に基づく報酬 等